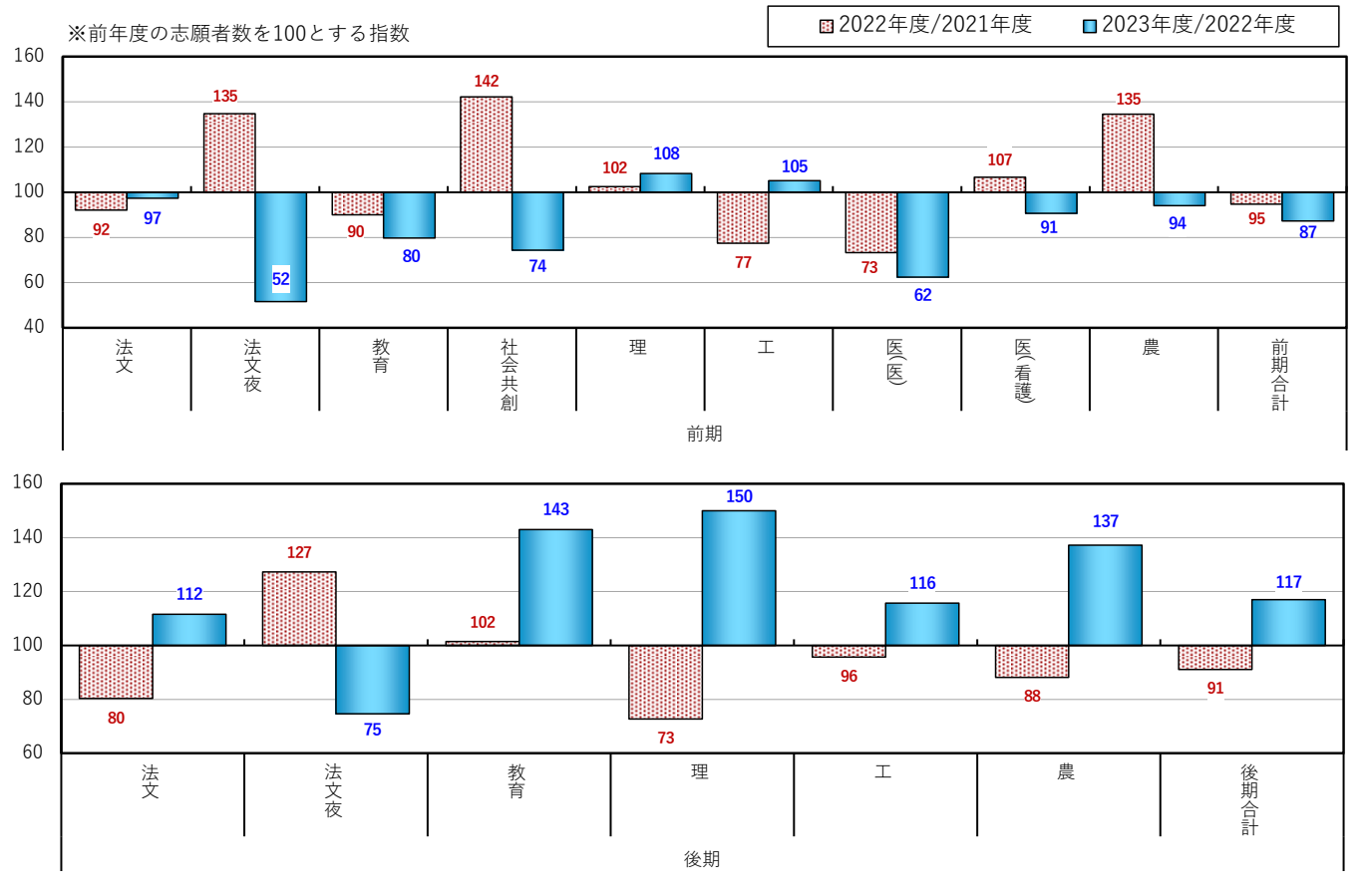


愛媛大：前期は2年連続減少、後期は4年連続減少の反動で大幅増加 前期：-343人 後期：+320人



**主な入試変更点**

募集人員：工<前>…324人→321人  
 共通テスト：教育(学校教育教員養成/初等教育、中等教育)<前>…国+数2+外+[歴公+(理基2 or 理2 or (理+理基2))]->3  
 →国+数2+外+[歴公+(理基2 or 理 or 理・理基2 or 理2)]->3  
 個別試験：医(看護)<前>…論+面+グループディスカッション->論+面  
 (2021年度、2022年度は新型コロナウイルスの影響でグループディスカッションは実施なし)

**COMMENT** ※( )内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は343人(87)の2年連続減少。法文(人文社会/夜間主コース)(52)を除いても(89)の2年連続減少。後期は4年連続減少の反動で、320人(117)の大幅増加。法文(人文社会/夜間主コース)(75)を除いても、4年連続減少の反動で、(124)の大幅増加。

<前期日程>

- 法文(人文社会/昼間主コース)(97)は、やや減少だが2年連続減少。志願者数は3年ぶりに400人を下回った。
- 教育(80)は、大幅減少で2年連続減少。コース・専攻別では、11募集単位中7募集単位で減少。特に、(学校教育教員養成/中等教育-国語教育)(12)は前年度5倍以上の激増の反動で、ほぼ9割減の激減。(学校教育教員養成/中等教育-保健体育)(47)、(学校教育教員養成/中等教育-技術教育)(50)、(学校教育教員養成/中等教育-家政教育)(53)はいずれもほぼ半減。一方で、3募集単位は大幅増加で、特に、(学校教育教員養成/中等教育-英語教育)(160)は前年度半減の反動で激増。
- 社会共創(74)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科・コース別では、6募集単位中4募集単位が大幅減少。特に、(地域資源マネジメント/農山漁村マネジメント)(40)は前年度2倍以上の激増の反動で激減、(産業マネジメント)(56)も前年度2.5倍以上の激増の反動でほぼ半減。一方で、(産業イノベーション)(137)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 理(108)は、2年連続増加。募集単位別では、5募集単位中4募集単位が増加。特に、(理/地学受験)(120)は前年度激増に続き大幅増加、(理/物理受験)(115)は前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 工(105)は、前年度大幅減少の反動は小さくやや増加に留まった。募集単位別では、(工/文理型入試(社会デザインコース))(131)は大幅増加、(工/理型入試(社会デザインコースを除く))(104)はやや増加。
- 医(医)(62)は、共通テスト英語の配点がリーディング：リスニング=9：1とリーディング重視のため、リーディング難化の影響もあって、2年連続大幅減少。志願者数は250人を下回り、志願倍率も9.7倍→7.1倍→4.4倍にダウン。
- 医(看護)(91)は、減少。志願倍率は3年連続2倍を下回った。
- 農(94)は、系統への高い人気もあって、前年度大幅増加の反動は小さく、やや減少。志願倍率は2年連続2倍台。学科別では、(生命機能)(139)は大幅増加で2年連続増加。一方で、(生物環境)(65)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(食料生産)(88)は前年度激増の反動で減少。

<後期日程>

- 法文(人文社会/昼間主コース)(112)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 教育(143)は、(学校教育教員養成/初等教育-小学校)のみの募集だが、大幅増加で3年連続増加。志願倍率は13.5倍→19.3

倍にアップ。

- 理(150)は、2年連続大幅減少の反動で大幅増加。募集単位別では、<B(面接)>(168)、<A(数学)>(141)といずれも前年度大幅減少の反動で大幅増加。いずれも共通テスト重視の配点や教科試験がないことで、共通テストの平均点アップが大きく影響。
- 工(116)は、大幅増加。志願者数は5年ぶりに800人を上回った。募集単位別では、(工/文理型入試(社会デザインコース))(178)は激増、(工/理型入試(社会デザインコースを除く))(112)は増加。
- 農(137)は、2年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率も3年ぶりに11倍台。学科別では、(食料生産)(188)は2年連続大幅減少の反動で激増、(生命機能)(167)は2年連続減少の反動で激増。一方で、(生物環境)(70)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。